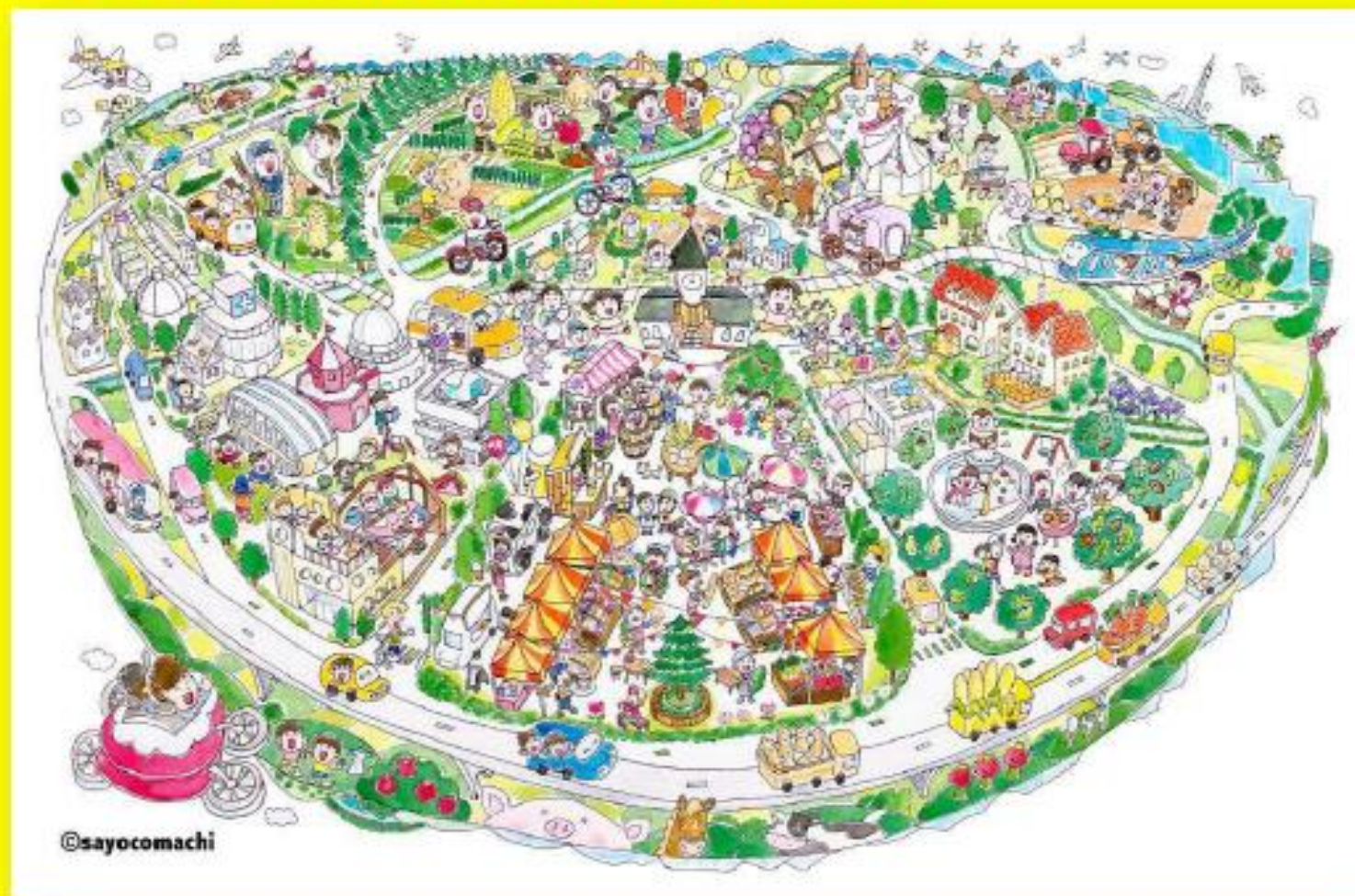


わたしたちは このまちの未来を語り続けます



ワクワクしながら
人と人がつながり
シビックプライドを育み
まちの可能性の最大化とまちの課題解決

めむろシティプロモーション計画(案)
令和3年●月 芽室町



令和2年8～10月の3か月間、町民と町職員により構成する「芽室魅力発見隊」が、延べ18時間に及ぶワークショップを行い、芽室町の未来の姿「ビジョンマップ」を完成させました。このマップの中に、町民の皆さんが夢に見る、20年後の芽室町の姿があります。

ワークショップ開催にあたっては、芽室町職員研修を皮切りに、リアルとオンラインを融合させたハイブリッド形式による、ウィズコロナ時代に即した手法にて実施しました。

◇協力

- 一般社団法人地球MD 山本聖
- 一般社団法人北海道プロデュース 中村真也 氏



芽室の将来像「マップ」に

駅周辺にぎわいや自転車観光

【芽室】町が将来を描いていく姿を絵にまとめたビジョンマップが完成した。農業や観光などで町民が生き生きと生活している様子が描かれている。町は6月にシティープロモーション計画を策定予定で、担当の西田昌樹魅力創造課長は親しみやすく町が一目で分かる絵にまとめた。これからもどんどん付け足され、バリエーションアップしていくことが理想と話している。

「魅力発見隊」意見を図案化

ビジョンマップは一枚の紙に気になる事柄や夢、願いなどを言葉や絵にして描き出したもの。将来像を視覚化する「絵」が、今後の目標や課題が見つげやすくなる。

町は昨年8月から同10月まで、町民や町職員による「芽室魅力発見隊」のワークショップを開催、地域資源や将来の姿、プロモーション方法などを話し合った。完成した芽室町のビジョンマップ

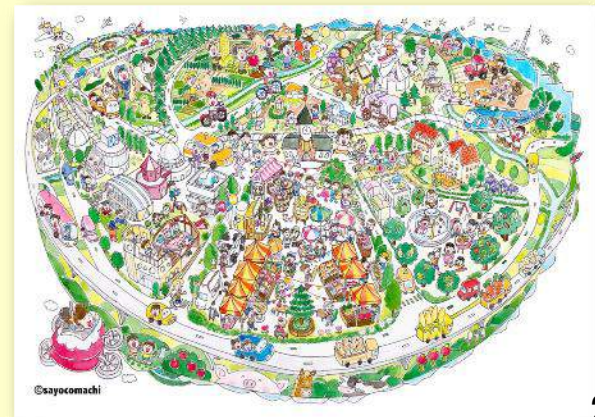
た。最終的に3つのグループで意見を集約し、これを基に帯広のイラストレーター小夜小町さんが一枚の絵にまとめた。

ビジョンマップは「芽室駅を中心に、今ある公共施設や公園などが描かれている。

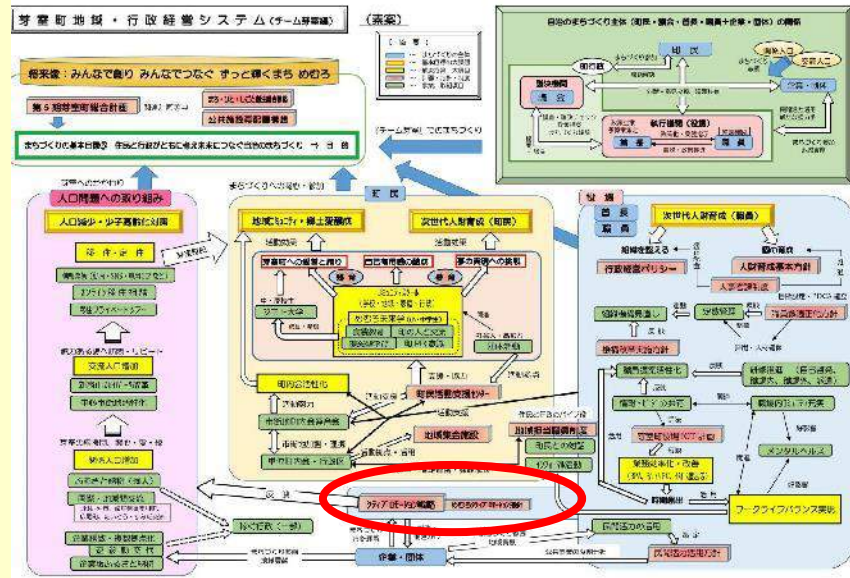
駅前では飲食を楽しむイベントが開かれ、サイクリングを楽しんだり農業を営む人々の笑顔も輝く。奥には東京や、友好都市の岐阜県揖斐川町を思わせるイラストもある。

西田課長は「町民自身が町がどうあってほしいか考えたことで内側のインヘーションが起これた」と感じ、「町は実現に向けて動いていかないといけない。町民にもまちづくりへの参加意識が芽生えてきていると思う」と語った。「あれが足りない」「なぜが住民自覚」と案顔を見せる。

町は5月中旬に「シティープロモーション計画」に関するパブリックコメント(意見征集)を募集し、6月に策定する予定。(細谷敦生)

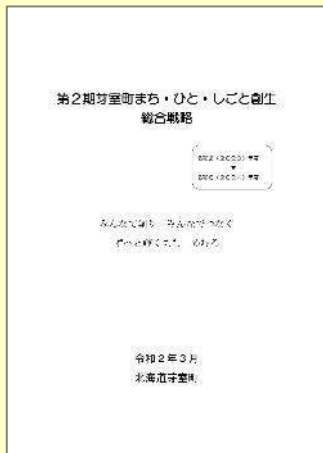


第5期芽室町総合計画 (H31-R8)

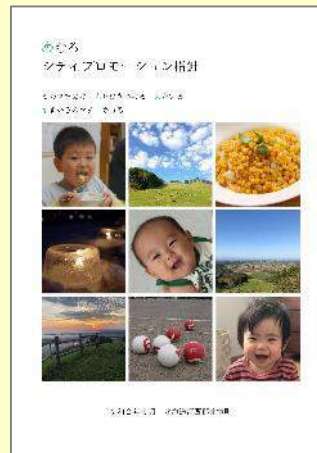


芽室町地域・行政経営システム

第2期芽室町まち・ひと・しごと創生総合戦略 (R2-6)



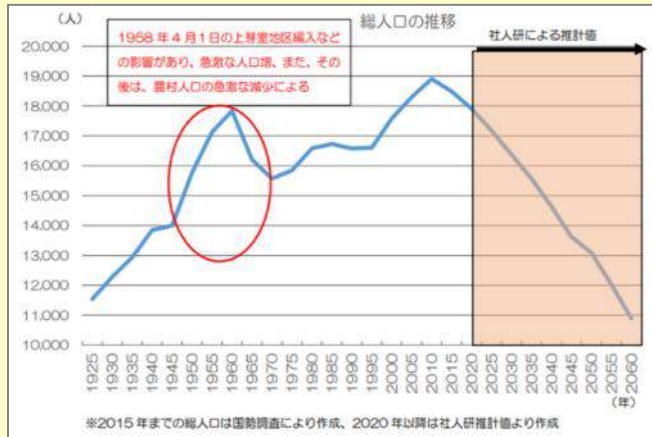
めむろシティプロモーション指針 (R3-R8)



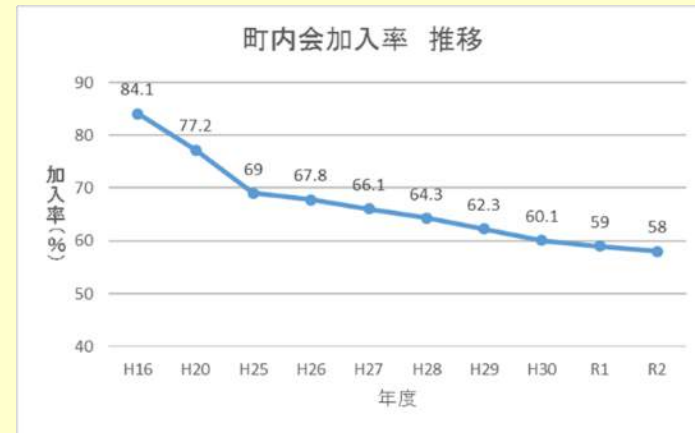
めむろシティプロモーション計画 (R3-R8)



【人口減少】



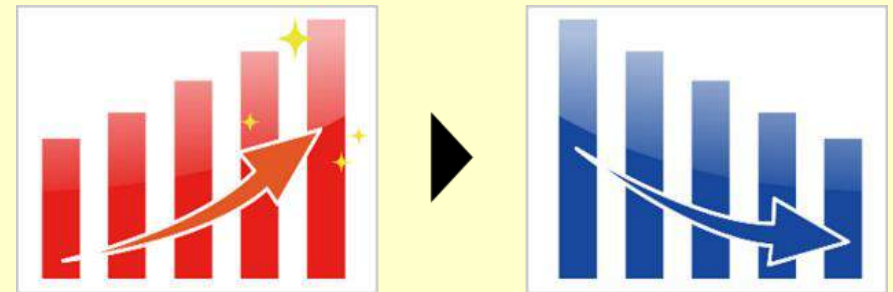
【地域コミュニティの希薄化】



【高齢化】



【右肩上がりの社会が終焉】



＋ウィズコロナ社会

- 1 生産人口減による税収の減(自主財源の確保)
- 2 空き家の増
- 3 空き店舗の増
- 4 地域の担い手不足(まちづくり・町内会等)
- 5 積極的に活動する人が限られてくる
- 6 公共施設利用者の減
- 7 小・中学校の存続
- 8 団体部活動の存続
- 9 消防団の存続
- 10 民間企業の撤退
- 11 商店街の活性化
- 12 公営住宅の利活用
- 13 労働力不足(農業等)
- 14 高齢化による予算支出増
- 15 交通弱者問題
- 16 独居老人の孤独化
- 17 独居老人の孤独死
- 18 財源不足による行政サービスの限界
- 19 認知度の低さ
- 20 遊び・観光場がない
- 21 映えるポイントがない
- 22 町内会の役割整理
- 23 向こう三軒両隣精神
- 24 居場所・立ち寄り場所
- 25 まちなかの宿泊場所
- 26 町への愛着と誇り醸成
- 27 ウィズコロナ社会への対応
- 28 審議会委員固定化・高齢化
- 29 活用されていない公共財産
- 30 ごみのポイ捨て
- 31 投票率の低下
- 32 地域コミュニティの機能低下
- 33 中心市街地活性化
- 34 公共施設等老朽化による予算増
- 35 地域内経済循環(町内消費)
- 36 産業・雇用の創出
- 37 次世代人財育成
- 38 歴史・文化の継承
- 39 まちづくりノウハウ蓄積
- 40 自主的な町民活動推進
- 41 まちの魅力の効果的な発信
- 42 地域の稼ぐ力の向上
- 43 十勝平原SAの活用
- 44 地域資源活用・価値向上
- 45 地域内イノベーション創発
- 46 町民主体のまちづくり

この計画実現のために必要なことは
住む人、訪れる人の

「**シビックプライド**を高め」

「**チーム芽室**の一員を増やしていくこと」

*シビックプライドとは…

芽室町に対して「誇り」「愛着」「共感」を持ち
「芽室町のために、自ら関わっていこうとする気持ち」

*チーム芽室とは…

シビックプライドを持つ方
なんらかの形でまちづくりの行動をしていく方

こんな気持ち(理念)で、この計画を実現していきます

ワクワクしながら 人と人がつながり シビックプライドを育み まちの可能性の最大化と まちの課題解決

「ワクワク」と楽しみながら町内外の「人と人がつながり」、共に20年後の芽室町の姿を夢を見ることで、芽室町に対し、誇り・愛着・共感を持ち、芽室町のために自ら関わっていかうと気持ちが育ち(シビックプライド)、まちの魅力を発見し、さらに磨き上げ、「まちの可能性を最大化」し、「まちの課題の解決」に繋がっていきます。

様々な社会背景の変化から生じるまちの課題を解決し、さらにはまちの可能性を最大化していくために、6つの方向性を整理し、当計画策定時において想定される関連政策を明記します。

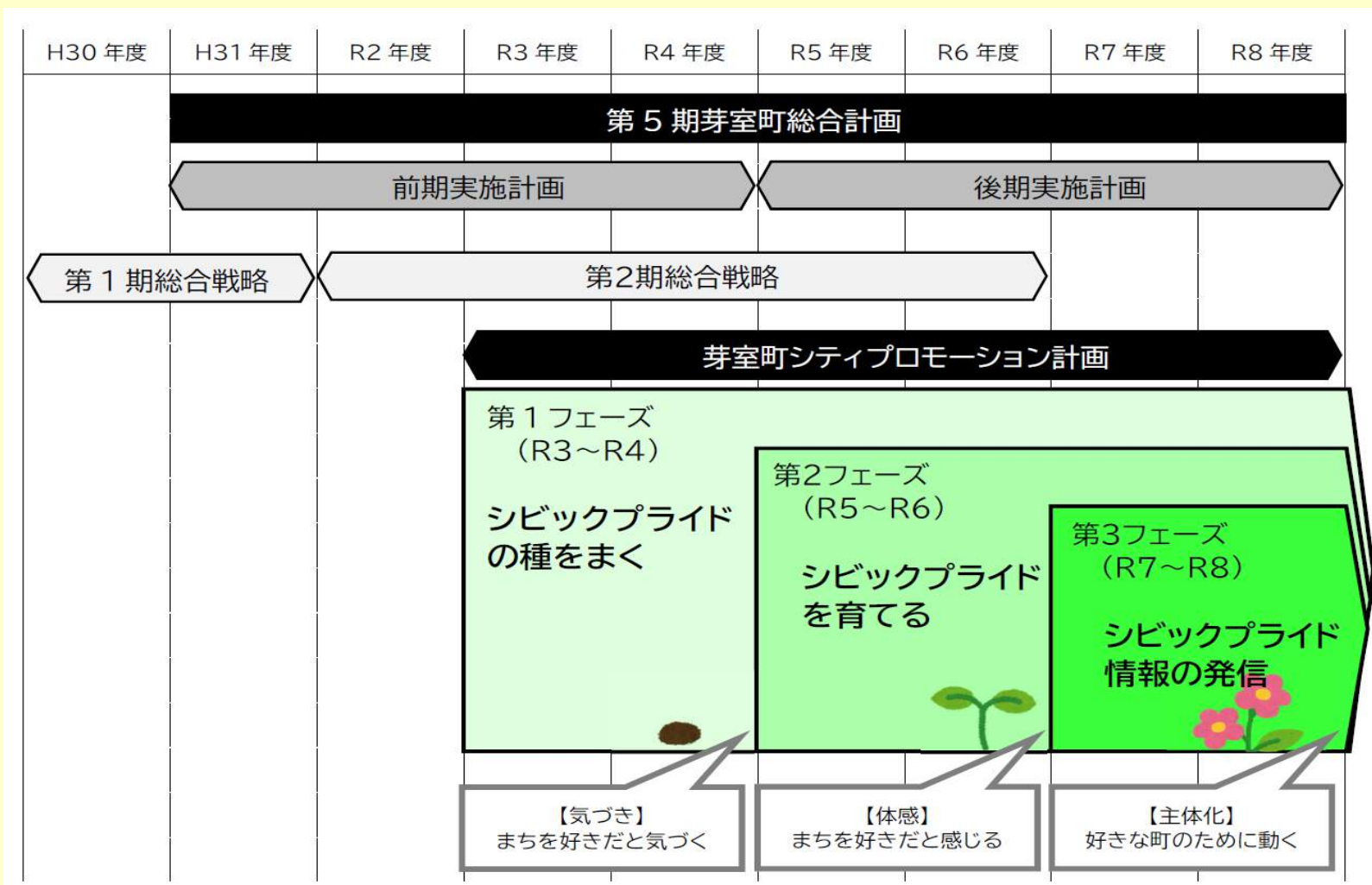
- ①シビックプライドを育む機会を町民生活に組み込んでいく
- ②まちの魅力となる人や活動を持続的に生みだしていく仕掛けをつくっていく
- ③次世代を担う「若い人」を的確にキャッチするプロモーションを進めていく
- ④まちを好きになってもらうための情報を的確に届けていく
- ⑤まちを訪れる人が、一番の魅力である「ひと」に出会う機会を創出していく
- ⑥住みたい、滞在したい、何かやりたい人など、新しい人を積極的に受け入れていく

(想定される政策と6つの方向性との関係性)

| | | | |
|------------------|------|----------------------|-----|
| 1 新嵐山スカイパーク再生 | ①④⑤⑥ | 12 観光物産の振興・PR | ②④⑤ |
| 2 個人版ふるさと納税 | ①④⑤ | 13 サイクルツーリズム | ②④⑤ |
| 3 食の魅力発信事業 | ①②④⑤ | 14 ふるさと会活動 | ②⑤ |
| 4 地域ブランディング | ①②④ | 15 サテライトオフィス・ワーケーション | ③⑤⑥ |
| 5 野遊びSDGs | ①②⑤ | 16 関係・交流人口創出 | ③⑤ |
| 6 ロゴマーク・キャッチコピー | ①③④ | 17 MaaS事業 | ⑥ |
| 7 熱中小学校芽室サテライト校 | ①③⑤ | 18 企業版ふるさと納税 | ④⑤ |
| 8 盆踊り | ①④ | 19 移住・定住促進 | ③⑤ |
| 9 町内会活性化 | ① | 20 国際交流・地域間交流 | ⑤ |
| 10 町民活動支援センター活性化 | ① | 21 芽室ジモト大学 | ① |
| 11 地域担当制度 | ① | | |

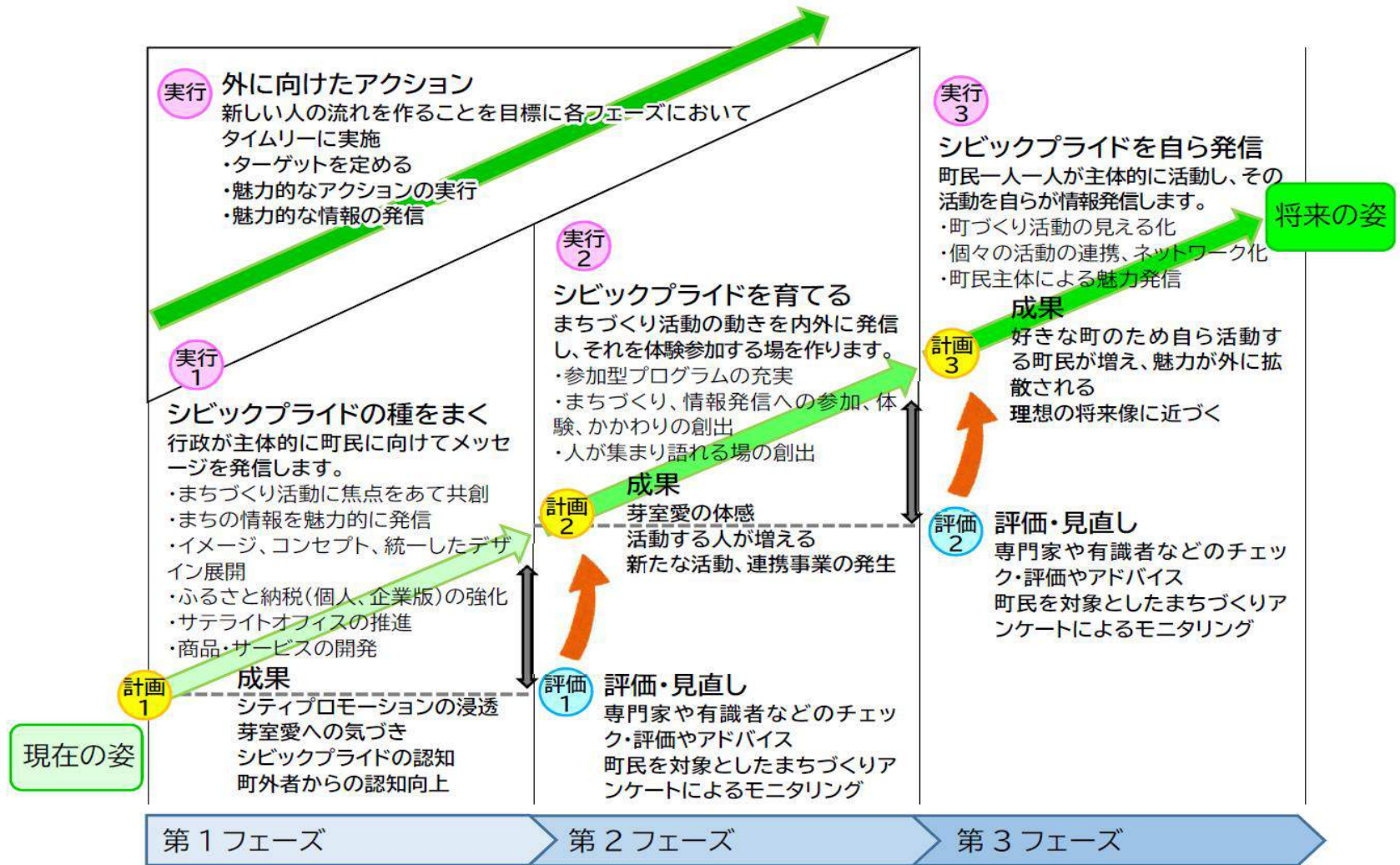
計画期間

本計画は、令和3年度から令和8年度を計画期間として、2年ごとの3つのフェーズに分けて、取り組みをチェック・評価しながら進めていきます。



3つのフェーズ

本計画は、令和3年度から令和8年度を計画期間として、2年ごとの3つのフェーズに分けて、取り組みをチェック・評価しながら進めていきます。



町民と職員による組織「芽室魅力発見隊」を結成し、芽室町の現状と魅力を確認し、まちづくりの未来地図(ビジョンマップ)を作成しました。



最大の強みは「人」と「精神」

「芽室魅力発見隊」によるワークショップで、現状の確認と、魅力の抽出を行い、数多くの芽室町の魅力が出されました。「ヒト」「モノ」「コト」「トコロ」など9つのカテゴリーで174の項目が抽出されました。

その中でも、「人がやさしい」「活動的な人」「頑張る人を応援する」「人をつなぐ人がいる」など、人や人の心にクローズアップした魅力が多く出されました。

芽室町には、住んでいる人、訪れた人の心に残る魅力的な「人」がいます。「人」こそがまちづくりの根幹で、芽室町ならではの優位性であり、最大の強みになります。

ランドマークはない。けれどもハートマークはたくさんある。
芽室町には、あたたかいハートがたくさんある。

このビジョンマップは、みんなで上書きし、みんなで創りあげていきます。



【全体】

老若男女が笑顔あふれています
高齢者もまちづくりの大切なメンバーとして生き生きしています
空路、陸路、鉄路など恵まれた交通インフラを活用し、ヒトやモノの流れ、
回流を促し活性化しています

【市街地】

駅前には人の笑顔があふれるにぎわいの空間があります。町の顔が魅力
となって、町内の人も町外の人も訪れています。

にぎわいの空間には芽室町の強みである食の原材料を売るマルシェ、
加工された食べ物飲み物が並んでいます

市街地には人が集まる拠点があります。住民同士はもちろん、町外の
人と町民が交流できる、調理やイベントなどもできます

高齢者や学生など、どこに住んでいても安心して暮らせる交通機関が
あります

おすそ分けなど、人がつながる文化が絆を深めています

町は緑にあふれ憩いや遊びの空間になっています

市街地には空家や空き店舗などを活用したシェアハウス、まち宿、魅力
的な飲食店があり、国内外を問わず多様な人が訪問、交流します

【農業関連】

先進的な農業でおいしさも生産効率もアップしています

国内外から農業研修をしに来ています

先祖から引き継いできた「土」を次世代に繋がられています

【関係人口交流人口移住定住】

農村と都市の交流で山村留学やテレワークが進められています

国内、海外の友好都市との交流が活発化しています

【観光】

馬車、自転車等の活用、新たな魅力的な商品開発など新たな観光
物産振興が展開されています

新嵐山は食とアクティビティ等、一年を通じた観光拠点として唯一
無二の場になっています

【工業団地】

恵まれたインフラと豊富な原材料を活かし工業団地はさらに活性
化しています

「何を」やるのかよりも、「なんのために」やるのかをベースに。～ まちづくりとは「町の課題を解決すること」「まちの可能性を高めること」と考える。

ありたい姿

第5期芽室町総合計画の質の高い実現
基本目標5 住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり
政策5-1 多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり
施策5-1-2 住民自治の実現と地域の活力の維持

【第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略】
基本目標1 稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
基本目標2 地方とのつながりを築き、地方への新しい人の流れをつくる
2-1 定住促進プロジェクト
2-2 関係人口創出プロジェクト
基本目標4 ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる
横断的目標1 多様な人材の活躍を推進する
横断的目標2 新しい時代の流れを力にする

関連計画等(策定中含む)

シティープロモーション指針
シティープロモーション計画
リユラル イン ザ スカイパーク

成果

政策

(検討中含む)

観光物産の振興・PR
観光物産協会改革

地域ブランディング

町内会活性化

財源

新嵐山スカイパーク再生

野遊びSDGs

町民活動支援センター
活性化

個人版 ふるさと納税

商品開発

地域担当制度

企業・人

企業版 ふるさと納税

ロゴマーク
キャッチコピー

熱中小学校
芽室サテライト校

サイクルツーリズム

関係・交流人口創出策

国際交流・地域間交流
(広尾・揖斐川・トレー
シー・台東区・墨田区)

場所・施設

サテライトオフィス・ワーケー
ション(逆参勤交代)

移住・定住促進策

人財育成策

食の魅力創造・発信事業

MaaS
(次世代の移動交通)

課題

(随時追加)

人口減による課題

- | | |
|-----------------------------|---------------|
| 1 生産人口減による税収の減 (自主財源の確保) | 7 小中学校の存続 |
| 2 空き家の増 | 8 団体部活動の存続 |
| 3 空き店舗の増 | 9 消防団の存続 |
| 4 地域の担い手不足 (まちづくり・町内会等) | 10 民間企業の撤退 |
| 5 積極的に活動する人が限ら れてくる | 11 商店街の活性化 |
| 6 公共施設利用者の減 | 12 公営住宅の利活用 |
| | 13 労働力不足(農業等) |

高齢化

- | |
|----------------|
| 14 高齢化による予算支出増 |
| 15 交通弱者問題 |
| 16 独居老人の孤独化 |
| 17 独居老人の孤独死 |

その他

- | | | |
|-------------------------|------------------|-----------------|
| 18 財源不足による行政 サービスの限界 | 27 ウィズコロナ社会への対応 | 37 次世代人財育成 |
| 19 認知度の低さ | 28 審議会委員固定化・高齢化 | 38 歴史・文化の継承 |
| 20 遊び・観光場がない | 29 活用されていない公共財産 | 39 まちづくりノウハウ蓄積 |
| 21 映えるポイントがない | 30 ごみのポイ捨て | 40 自主的な町民活動推進 |
| 22 町内会の役割整理 | 31 投票率の低下 | 41 まちの魅力の効果的な発信 |
| 23 向こう三軒両隣精神 | 32 地域コミュニティ機能低下 | 42 地域の稼ぐ力の向上 |
| 24 居場所・立ち寄り場所 | 33 中心市街地活性化 | 43 十勝平原SAの活用 |
| 25 まちなかの宿泊場所 | 34 公共施設等老朽化予算増 | 44 地域資源活用・価値向上 |
| 26 町への愛着と誇り醸成 | 35 地域内経済循環(町内消費) | 45 地域内イノベーション創発 |
| | 36 産業・雇用の創出 | 46 町民主体のまちづくり |

背景

人口減少・少子高齢化・地域コミュニティの希薄化・高度経済成長期終焉・ウィズコロナ社会 【右肩上がり社会が終わり、未知の時代へ】



20年後の芽室町の姿を実現するためにシビックプロモーションを進めていきます。

(このために)
シビックプライドを高め
チーム芽室の一員を
増やしていきます

(こんな考え方で進めます)
ワクワクしながら
人と人がつながり
シビックプライドを育み
まちの可能性の最大化と
まちの課題の解決

*シビックプライドとは…
芽室町に対して「誇り」「愛着」「共感」を持ち
「芽室町のために、自ら関わってほしいという気持ち」

*チーム芽室とは…
シビックプライドを持つ方
なんらかの形でまちづくりの行動をしていく方

①人口減少

- 1 生産人口減による税収の減(自主財源の確保)
- 2 空き家の増
- 3 空き店舗の増
- 4 地域の担い手不足(まちづくり・町内会等)
- 5 積極的に活動する人が限られてくる
- 6 公共施設利用者の減
- 7 小中学校の存続
- 8 団体部活動の存続
- 9 消防団の存続
- 10 民間企業の撤退
- 11 商店街の活性化
- 12 公営住宅の利活用
- 13 労働力不足(農業等)

②高齢化

- 14 高齢化による予算支出増
- 15 交通弱者問題
- 16 独居老人の孤独化
- 17 独居老人の孤独死

③その他

- ・地域コミュニティの希薄化
- ・右肩上がりの社会が終焉
- ・ウィズコロナ社会

- 18 財源不足による行政サービスの限界
- 19 認知度の低さ
- 20 遊び・観光場がない
- 21 映えるポイントがない
- 22 町内会の役割整理
- 23 向こう三軒両隣精神
- 24 居場所・立ち寄り場所
- 25 まちなかの宿泊場所
- 26 町への愛着と誇り醸成
- 27 ウィズコロナ社会への対応
- 28 審議会委員固定化・高齢化
- 29 活用されていない公共財産
- 30 ごみのポイ捨て
- 31 投票率の低下
- 32 地域コミュニティ機能低下
- 33 中心市街地活性化
- 34 公共施設等老朽化予算増
- 35 地域内経済循環(町内消費)
- 36 産業・雇用の創出
- 37 次世代人財育成
- 38 歴史・文化の継承
- 39 まちづくりノウハウ蓄積
- 40 自主的な町民活動推進
- 41 まちの魅力の効果的な発信
- 42 地域の稼ぐ力の向上
- 43 十勝平原SAの活用
- 44 地域資源活用・価値向上
- 45 地域内イノベーション創発
- 46 町民主体のまちづくり

①シビックプライドを育む機会を町民生活に組み込んでいく

②まちの魅力となる人や活動を持続的に生みだし
ていく仕掛けをつくっていく

③次世代を担う「若い人」を的確にキャッチする
プロモーションを進めていく

④まちを好きになってもらうための情報を的確
に届けていく

⑤まちを訪れる人が、一番の魅力である「ひと」に
出会う機会を創出していく

⑥住みたい、滞在したい、何かやりたい人など、
新しい人を積極的に受け入れていく

(想定される政策と6つの方向性との関係性)

- | | |
|----------------------|------|
| 1 新嵐山スカイパーク再生 | ①④⑤⑥ |
| 2 個人版ふるさと納税 | ①④⑤ |
| 3 食の魅力発信事業 | ①②④⑤ |
| 4 地域ブランディング | ①②④ |
| 5 野遊びSDGs | ①②⑤ |
| 6 ログマーク・キャッチコピー | ①③④ |
| 7 熱中小学校芽室サテライト校 | ①③⑤ |
| 8 盆踊り | ①④ |
| 9 町内会活性化 | ① |
| 10 町民活動支援センター活性化 | ① |
| 11 地域担当制度 | ① |
| 12 観光物産の振興・PR | ②④⑤ |
| 13 サイクルツーリズム | ②④⑤ |
| 14 ふるさと会活動 | ②⑤ |
| 15 サテライトオフィス・ワーケーション | ③⑤⑥ |
| 16 関係・交流人口創出 | ③⑤ |
| 17 MaaS事業 | ⑥ |
| 18 企業版ふるさと納税 | ④⑤ |
| 19 移住・定住促進 | ③⑤ |
| 20 国際交流・地域間交流 | ⑤ |
| 21 芽室ジモト大学 | ① |